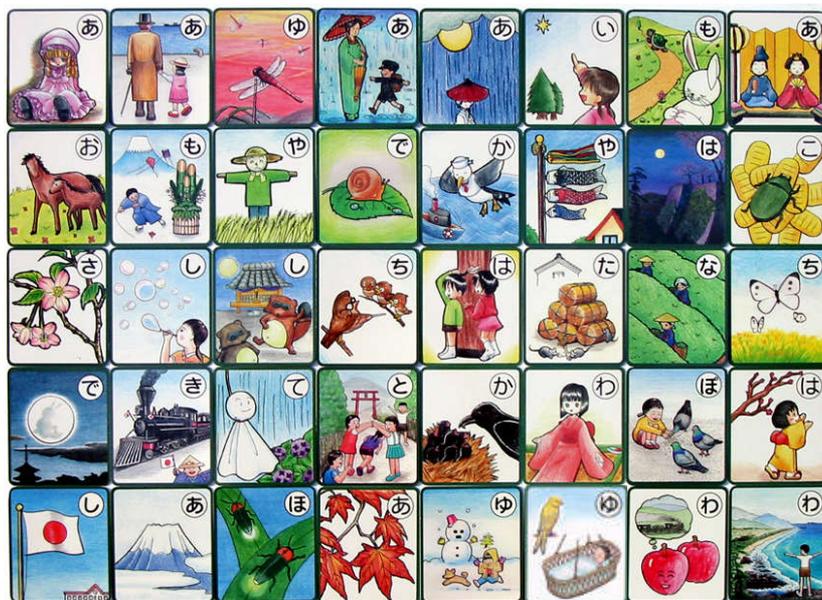


唱歌カルタ 遊び方詳細

50年以上前の唱歌（童謡から歌曲まで幅広く選曲）の情景を描いた40枚のカルタで、読み札の代わりにCDで流れる曲のメロディを聞き、歌詞を思い浮かべ、その歌の情景と歌いだしの頭文字を描いてあるカルタを見つけ出して取ります。

1. 準備

- 1) 5～6人で机を囲みます。
（床の上で輪になります）
- 2) 右図の40枚のカルタを机（床）の上に、自由に並べます。
- 3) CDデッキに、下図の唱歌カルタのCDを挿入します。
・CDは各曲一番のみ収録
（全体演奏時間 約40分）



2. 遊び方

- 1) CDで唱歌カルタのメロディを流します。
（数回やって、慣れてきたら、曲の順序を覚えられないようランダム演奏でメロディを流します）
- 2) 曲を聞き分け、歌詞を口ずさんで、情景を思い出し、歌いだしの頭文字も確かめ、そのカルタを見つけたら「ハイ」と言って取ります。
- 3) カルタを取ったら、皆に見せて、絵を覚えてもらい、自分の手元に裏返して置きます。
- 4) カルタが取れたら、皆で楽しく歌います。歌いながら取っても結構です。
- 5) カルタを全部取ってしまったら、各自が取ったカルタの枚数を数えて順位を確認します。

3. 遊びの効果として、ねらったこと

- 1) メロディーを聞き、歌詞を思い出し、情景を思い浮かべ、曲と絵に感動することにより右脳を刺激します。（CDから流れるメロディを聞くことにより遊ぶ人の右脳が反応し、自然体でカルタを探し始めますので、脳活性化ゲームの導入として大変効果的で、やる気を起します）
- 2) どこにどんな情景の絵、歌い出しの頭文字のカルタがあるか見て覚えておき、曲が始まったら素早く反応して取るということで前頭葉を刺激します。
- 3) みんなで一緒に楽しく歌うことにより、右脳を刺激し、コミュニケーション力を高めます。
- 4) 歌いだしの頭文字は、同じものが多くありますので、情景の絵と頭文字の両方に注意分配して、カルタを取らないと失敗します。頭文字のみに注意が行き、情景の絵がお留守になってしまう人がいますが、要注意です。